

皆様、こんにちは。
府中教会、アンドレアです。

本日の福音では、三つの言葉がマリアの姿を特徴づけています。「耳を傾けること」「決意すること」「行動すること」です。これらの言葉は、人生において主が私たちに求める道をも示しています。

「耳を傾けること」。従姉妹のエリザベトを訪問する、マリアのこの行為はどこから生まれたのでしょうか。それは神の天使の一つの言葉によるものです。「あなたの親戚のエリザベトも、年老いているにも関わらず 身ごもりました」(ルカ 1, 36)。マリアは神に耳を傾けることができます。注意を込めて、心を込めて、神への従順の心構えをもって「聴く、耳を傾ける」ということです。

二番目の言葉は「決意する」ということです。マリアは決してあわてた生き方はしません。決意する苦労をいといません。時には、生活の中では決定が難しいこともあります。しばしば決定を延期し、自分の代わりに誰か他の人に決定を任せたりします。マリアはお告げの時も、ご訪問の際も、神の声に耳を傾け、考え、事実を把握するよう努めます、そして神にあまねく信頼しようと決意します。

三番目のことばは「行動」です。マリアは旅に出ます。「急いで行きました」(ルカ 1, 39)とあるとおりです。出発の決定に関しても、受ける非難や困難にも関わらず、彼女は何を前にしても怖気付いたりしません。「急いで」出発します。マリアの行動は、天使の言葉に対する彼女の従順の結果です。しかし、それは愛徳にも結ばれています。エリザベトのもとへ、お役に立てるようにと行くのです。愛のために、自分自身から、自分の家から、出て行くということを通し、そこに最も貴重なものをもたらすのです。

本日、私たちは聖母マリアの被昇天をお祝いします。また、平和旬間の最後の日になっています。過去を振り返りながら将来にむけて平和を実現する者になりましょう。本日、聖母マリアの模範に従いなから、平和の為に祈って、願いましょう。

